#### 株主メモ

事 業 年 度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

期末配当金受領株主確定日 毎年2月末日

中間配当金受領株主確定日 毎年8月31日

定 時 株 主 総 会 毎年5月開催

株 主 名 簿 管 理 人 株式会社アイ・アールジャパン

司 連 絡 先 株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部

〒107-8666 東京都港区北青山一丁目2番3号

TEL.0120-975-960(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所第一部市場

公告 方法 電子公告

当社ホームページ(http://www.ait-jp.com/)に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

#### ご注意

- 1. 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 株主名簿管理人(株式会社アイ・アールジャパン)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 未受領の配当金につきましては、株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部でお支払いいたします。

#### 株主優待制度に関するお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的として、昨年度より、株主優待制度を導入いたしました。

対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または 記録された1単元(100株)以上を保有されてい る株主様を対象といたします。

## ホームページのご案内



サービス情報・IR情報など、 最新の情報をご覧いただけます。

エーアイテイー

**Q**)

http://www.ait-jp.com/

表紙の風景

中国・青島市

山東省南部に位置し、中国の主要な港湾都市である青島市は、経済発展著しく現代的な高層ビルが建ち、中国経済の中心的都市であるとともに、観光商業都市としても有名です。「紅瓦緑樹、碧海藍天」と表現される町並みの風景は、中国と西洋が混ざり合った欧風の古典的建築が建ち並び、異国情緒を漂わせています。また青島市では、2008年に開催された北京オリンピック、パラリンピックで、ヨット競技が行われました。





証券コード:9381

## 国際物流をデザインするエーアイテイー

第28期中間報告書

平成26年3月1日~平成26年8月31日

# エーアイティー 成長戦略

一貫輸送提案の強化

国際物流の 一貫輸送体制を強化

国外(中国) ロジスティクス

国際輸送 (海上・航空)

通関業務

国内 ロジスティクス 国際物流の一貫輸送提案



アジア生産拠点(中国)から国内輸送まで一貫した物流サービス。

日本では数少ない、

中国・日本の物流に関する 一貫サービスを提供。

#### 顧客メリット

効率化による スピード対応 物流コストの 低減提案

貨物情報の 一元管理



- 一貫輸送の提案により、国際輸送の新規取引先獲得の機会を増やす
- 既存クライアントとの関係を強固にし、取引拡大・収益増加を目指す

海外にも積極的に展開する

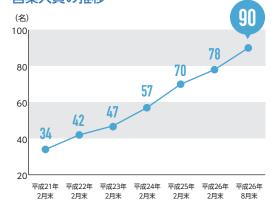
エーアイテイーの提携物流センター

49<sub>№点</sub> → 14<sub>№点</sub> 35<sub>№点</sub>



## 営業力 >>>>

## 営業人員の推移



#### 1 物流コンサルティングサービス

[現場調査]をもとに「改善提案」を通じて「新物流構築」をしてまいります。

### 2 SCM構築サービス

海外ネットワークの活用、輸配送業務の請負等、SCM構築を提案いたします。

#### SCM(サプライチェーン・マネジメント)とは

生産地から最終消費地に至る一連の商品供給の流れを「供給チェーン」ととら えて、統合的に物流システムを構築し、経営の効率化を図ることを言います。

### 営業収益

## 更なる営業の強化を図り、 通関を含めた一貫輸送を武器にする。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上 げます。

さて、ここに第28期(平成27年2月期)第2四半期(累計)の業 績についてご報告を申し上げます。

### 上期の活動におけるトピックスは?

営業人員の更なる増員増強により、 一貫した国際物流の提案型営業に特化。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大企業を 中心に企業収益の回復、雇用環境の改善が見られ、消費税率引上 げに伴う駆込み需要の反動により個人消費の一部に弱さは残る ものの、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況下、当社グループは、継続した営業人員の増員 増強により、それぞれの顧客のニーズに沿った国際物流の提案 型営業をより一層推進し、新規顧客の獲得を図るとともに、既存 顧客を含めた通関受注の拡大にも注力してまいりました。それ に加え、日本国内及び中国国内での3PL(サードパーティー・ロジ スティクス)案件の獲得にも精力的に取り組んだことにより、営 業収益は前年同期を上回ることとなりました。

一方で、全般的に売上総利益率の低い日用雑貨の海上輸送の 取扱いの拡大と3PL案件の獲得が進んだことや、国内配送費用の 値上げによる什入コストの増加といった売上総利益率の低下要 因はあったものの、その他の仕入コストの低減を図ったことか ら、第2四半期での売上総利益率に改善効果が見られました。そ の結果、売上総利益率は前年同期の23.0%から22.7%と0.3ポ イントの低下に留まり、前年同期を上回る売上総利益を確保い たしました。

また、雇用環境の好転により採用活動が厳しさを増す中、中途 採用活動における採用経費が増加したこと、及び営業社員の採 用以外にも通関受注の拡大により業務社員の採用も併せて進め たことから、人件費を中心に販売費及び一般管理費は増加する こととなりました。しかしながら、平行して販売費及び一般管理 費の抑制に取り組んだことから、第1四半期に比べ、営業利益率 も改善傾向で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は 10,163百万円(前年同期比12.7%增)、営業利益608百万円(前 年同期比6.8%減)、経営利益639百万円(前年同期比4.4%減)、 四半期純利益377百万円(前年同期比21.0%減)となりました。



#### ●営業収益



#### ●経営利益



#### ●四半期(当期)純利益



#### ●1株当たり四半期(当期) 純利益



#### 1株当たり四半期(当期)純利益

(注)平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にて、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第25期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定して おります。

#### ●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)					
科目	前期末 平成26年2月28日現在	当第2四半期末 平成26年8月31日現在			
流動資産	5,121	5,503			
固定資産	325	338			
資産合計	5,447	5,842			
流動負債	1,232	1,476			
固定負債	203	226			
負債合計	1,436	1,702			
純資産合計	4,010	4,139			
負債純資産合計	5,447	5,842			

当第2四半期末の現金及び預金を中心とした流動 資産は、前期末より382百万円増加した結果、資 産合計に占める割合は、94.0%から94.2%に上 昇しています。 当第2四半期末の負債純資産合計において、自己

資本比率(少数株主持分勘案後)は、70.6%と高く、 引き続き財務の健全性の高い経営状態にありま

## 上場以来6期連続で増配しております。

当社は、平成19年3月の株式上場以来、6期連続して、1株当たりの年間配当を増配しております。

7期目となる本年度も、中間配当は前年同期と比較し、1株当たり2.00円(平成25年11月1日付株式分割勘案後)の増配となる10.00円で行い、また、期末配当も10.00円を計画していることから、7期連続しての年間配当の増配を計画しております。



- (注)1. 平成22年3月1日付にて1株につき200株、また平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割を行っています。つきましては、平成26年2月期以前の1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過年度に遡及して表示しております。
  - 2.1株当たり年間配当金の棒グラフ内に記載されている金額は、小数点第3位を四捨五入し、表示しております。
  - 3. 平成26年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上を保有されている株主様より株主優待の実施を開始しております。

Q&A

投資家の方々から、 多くいただく ご質問について、 お答えいたします

## 中国以外への進出は?

中国以外の海外拠点につきましては、現在ベトナムに駐在員事務所、タイに現地法人を置いております。当社は、日系企業の進出が著しいインドネシアが今後の発展が見込まれるものとして、新たな拠点開設を計画しております。また、ミャンマー、カンボジアなども今後の成長が大いに見込める魅力ある国と考えております。

## المال المال

## どのような外部環境が 収益に悪影響を及ぼすのか?

現在、当社グループが輸送する商品は、 生活雑貨やアパレル製品が多く、日本国内の景気低迷、個人消費の冷え込みにより、一時的にその輸入量が減少することで、収益に悪影響を及ぼす可能性があります。しかしながら、そういった環境下でも、新規顧客の獲得や一貫輸送提案の強化に注力することで、払拭できるものと考えております。

#### 株式に関する情報 (平成26年8月31日現在)

株式情報/会社概要

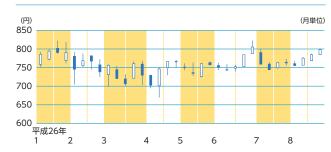
発行可能株式総数 53,856,000 株 発行済株式の総数 19,754,400 株 株 主 数 5,504 名

#### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%
株式会社エイチアンドワイ	7,139,600	37.35
馬上 真一	986,000	5.16
ビービーエイチ フイデリテイ ピユーリタン フイデリテイ シリーズ イントリンシック オポチユニテイズ フアンド	739,600	3.87
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT	725,900	3.80
波床 知喜	540,000	2.83
矢倉 英一	496,400	2.60
ビービーエイチ マシユーズ ジヤパン フアンド	471,300	2.47
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	427,100	2.23
株式会社ドルフィンズ	412,000	2.16
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224	350,000	1.83

- (注1) 上記のほか、自己株式640,768株を保有しております。
- (注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

#### 株価動向



#### 所有者別株式分布状況 (平成26年8月31日現在)



#### 会社概要 (平成26年8月31日現在)

社名	株式会社エーアイテイー		
英文社名	AIT CORPORATION		
本社	〒541-0053		
	大阪市中央区本町2丁目1番6号		
	堺筋本町センタービル15階		
	TEL.06-6260-3450(代表)		
設立	昭和63年2月		
資本金	271,140,311円		
従業昌数	525夕(連結) 266夕(単休)		

征美貝数 525名(理給)、266名(甲体) 事業内容 貨物利用運送事業(外航海運)、貨物利用運送事業(国

> 際航空貨物)、航空運送代理店業、通関業、海運仲立業、 損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売

並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

#### 取締役及び監査役 (平成26年8月31日現在)

代表取締役社長	矢倉	英一	常勤監査役	清水	洋志
常務取締役	波床	知喜	社外監査役	寺戸	しのぶ
常務取締役	馬上	真一	社外監査役	西島	佳男
取締役	西村	司			

5